

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	EX457/法学特殊講義(国際環境法) (Special Lecture on Law)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	国際環境法		
担当者名 (Instructor)	許 淑娟(HUH SOOKYEON)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	LPX2200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

国際環境法の原則および概念の理解を深め、代表的な多国間環境条約の特徴について説明できる。

The goal of this course is to help students to understand the key principles and concepts of international environmental law and to explain their characteristics and basic architectures of several multilateral environmental treaties.

授業の内容(Course Contents)

国際環境法の入門科目である。地球規模の環境問題の特徴と規制の必要性を認識し、国際環境法の基本原則および基本概念を学ぶ。基本原則及び基本概念としては、持続可能な開発、予防原則・予防アプローチ、世代間衡平、共通だが差異ある責任、人類共通の遺産などが含まれる。また、授業の公判では、具体的な環境事例および多国間環境条約を個別に検討する。気候変動や、オゾン層、生物多様性、海洋汚染、希少動植物保存、有害廃棄物の越境移動などである。

国際法 1 および 2 を履修していない者は、履修前に、国際法の教科書を入手して目を通しておくことを強く推奨する。

This course is designed to provide an introduction of International environmental law, It will survey the basics of international environmental law, beginning with an overview of global environmental challenge and core legal principles including sustainable development, precautionary principle/approach, intergenerational equity, common but differentiated responsibility, common heritage of mankind. It will cover several legal regimes such as climate change, ozone layers, biodiversity, marine pollution, CITES, trans-boundary pollution.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション: 国際法の法源
2. 国際環境法の形成と展開
3. 国際環境法の基本原則および基本概念(1)
4. 国際環境法の基本原則および基本概念(2)
5. 国際環境法の基本原則および基本概念(3)
6. 国際環境法の基本原則および基本概念(4)
7. 国際環境法の基本原則および基本概念(5)
8. 国際環境法の基本原則および基本概念(6)
9. 個別の環境条約・環境事例(1)
10. 個別の環境条約・環境事例(2)
11. 個別の環境条約・環境事例(3)
12. 個別の環境条約・環境事例(4)
13. 個別の環境条約・環境事例(5)
14. 総括

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

毎回予習のための教科書、論文、サイトを指定する。
授業後に質問・コメントを受け付け、次回にフィードバックを行う予定である。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(90%/毎回の質問コメント(10%)

テキスト(Textbooks)

教科書・参考書については、初回授業時に指定する。初回時には、国際法1および2 で使った教科書を参照すること。国際法1 および2 で使われる教科書は、本シラバスの参考書の欄に示すが、それ以外の国際法の概説書でも構わない。

参考文献(Readings)

1. 岩沢雄司、東大出版会、『国際法』、2020
2. 西村弓ほか、有斐閣、『国際法』、2011
3. 浅田正彦ほか、東信堂、『国際法(第四版)』、2019
4. 中谷和弘ほか、有斐閣、『国際法(第四版)』、2021

教科書・参考書については、初回授業時に指定する。初回時には、国際法1および2 で使った教科書を参照すること。なお、国際法1 および2 で使われる教科書・参考書は、本シラバスの参考書の欄に示すが、それ以外でも構わない。

その他(HP 等) (Others(e.g.HP))

本講義を受講するか考える際の参考動画を一つだけ挙げる。

<https://www.bbc.com/japanese/video-51171995>

注意事項 (Notice)